

In JAPAN

インタビュー
動画公開中！

In the USA



Forever Together in Our "Friendship and Understanding"

私たちの「友情と理解」は永遠に

久喜市・ローズバーク協会

会長 平澤香さん

Kaoru Hirasawa



ローズバーク市との交流の魅力は、語学だけでなく、人とのつながりや文化の違いを体感することができるホームステイにあります。豊かな大自然に育まれたローズバーク市での日常生活を通して、あらためて日本文化や自分自身を深く見つめ直す貴重な機会となります。コロナ禍で人的交流は一時中断されましたが、30年以上にわたって培われた両市民の「友情と理解」をスローガンにして、再開することができました。

この交流は、中学生にとっても将来の夢や希望の扉を開くきっかけになります。10周年を契機に今後もさらに両市民の絆を深め、久喜市民の誇りでもある、この交流事業へのご支援とご協力をお願いするとともに、真の国際交流を実感していただけたらと思います。

Roseburg Sister Cities, Inc.

ローズバーク姉妹都市協会

会長 ジャネット・
ジョンストンさん
Janet Johnston



久喜市との姉妹都市関係を10年間継続できたことは大変幸運なことで、ご支援くださった久喜市に深く感謝申し上げます。菖蒲町の時代から30年以上にわたる交流を通して友情が育まれ、忘れられない思い出がたくさん作られてきました。中には人生が変わったという方もいます。参加者からは、久喜市の皆さんは親切でフレンドリーで、ホームステイにより日本の日常生活に触れたことが最高に楽しかったという声を聞きます。

ローズバークの学生や大人が訪問する際は、ぜひ受け入れをご検討ください。また、ぜひローズバークにお越しいただき、私達のおもてなしと地域の自然をお楽しみください。お互いに多くのことを学び、友情と理解を深められることを願っています。(和訳文)



中村勇雅さん Yuga Nakamura (写真左)

中学生の交流事業に参加
令和6年派遣、令和7年受け入れ

昨年Jackの家にホームステイし、今年は受け入れ側としてJackを迎えました。1年ぶりの再会に少し緊張しましたが、実際に会うと喜びと楽しさになりました。前は英語がうまく話せず悔しい思いをしましたが、今回は上達を実感し、自分の気持ちを伝えることができました。サッカーやゲームなど共通の趣味を通して、言葉や文化の違いを越えて友情を深めることができました。

この2年間で、挑戦することの楽しさ、そして勇気を出して一歩踏み出せば新しい世界が広がることを知りました。いつかまたJackに会う日まで、勉強やサッカーに励みながら、新しいことにも挑戦していきたいです。



小島比ろ子さん Hiroko Kojima (写真右)

成人の交流事業に参加
令和7年派遣、過去複数回受け入れ

今回ローズバークを訪問し、警察署、消防署、中学校、そして現地企業の見学をさせていただきました。どの施設でも職員の方々が温かく迎えてくださり、地域社会を支える仕事への誇りと責任感を強く感じました。特に警察署や消防署では市民の安全を守るための設備や訓練体制の整備に感銘を受けました。

中学校では、こども達が自分の意見を積極的に発表しており、自由に活発な学びの姿勢が印象的でした。会社見学では働きやすい環境を構築するための工夫や効率的なシステムを学び、日本との違いを実感しました。訪問を通じて文化や考え方の違いを理解し、国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。

姉妹都市提携10周年記念

パネル展示

12月1日(月)～19日(金)

市役所本庁舎ロビー

- ▶ 過去の交流活動の写真
- ▶ 交流事業オリジナルTシャツ
- ▶ ローズバーク市からの贈り物 など